

びとう和広後援会ニュース

12号外 No. 2
発行日：
2012年8月1日
発行責任：
びとう和広後援会
会長：小倉義彦

三期目に向け、 新たな誓い！

後援会の皆様のご支援に心から感謝致します。
皆様から頂いたご意見・ご提案・ご相談を元に、将来に向けた「安心・元気なまち・三田」を創るために、頑張ります。
しっかり審議ができる議会こそ三田のまちづくりの柱と考え、開かれた議会・顔の見える議会を進めて行きます。
これからも、4つの政策課題を中心に全力投球で頑張ります。



『びとう和広』後援会 会員拡大活動を展開中！

「びとう和広」の民間企業の視点に立った政策と、子を持つ親として考える三田の将来像に共感頂き、更なる後援会会員拡大に向けて取り組んでいます。皆様のご紹介を宜しくお願い致します。

「びとう和広」は、皆様に市政に送っていただいて8年間、「皆様の声を市政に！」をモットーに、できる限り皆様にお会いし、また、後援会行事を通して、ご要望・ご提案を頂いてまいりました。安定した財政基盤の上に安心して育成できる、元気・活力ある三田をめざして、精一杯頑張ります。



【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel:079-563-1860 Fax:079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: & Fax:079-562-8653
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

子育て・教育

○放課後・休日の「子どもの居場所づくり」の推進

小学3年までの放課後児童クラブ、4年生以上の放課後・休日の居場所が必要です。地域活動としての「子どもの居場所づくり」を推進します。

○子育て世代が安心できる保育体制の拡充

待機児童ゼロに向け、認定こども園や認可保育所の拡充により、安心できる保育体制を整備し、仕事に復帰しやすい社会環境を推進します。



駒ヶ谷体育館子育て交流広場

○豊かな自然を将来に引き継ぐ環境保全の推進

三田の豊かな自然を将来に継承するには、子どもの原体験が大切です。自然の多い三田の魅力を教育の中に活かして、環境保全を推進します。



フラワータウンの入口に整備中の「三田南自然公園」

財政

○市民の生活重視で行財政改革

市民の皆様にも共感頂きながら、更なる行財政改革を推進します。各事業を根本から見直し、各種団体のあり方を見直します。地域担当制を支える地域予算と地域事業の計画構築を支援します。

○事業ごとに目的・コスト・効果と実績の見える化

事業の見える化に取り組んできました。事業仕分けができるほど各事業の目的の明確化、コストや効果の定量化による目標と実績の見える化を推進します。

○民間活力・手法による事業・業務の効率化

民間でできる事業は民間委託や指定管理を進めます。市役所内もしっかりとコスト意識を持った民間感覚の業務効率を推進します。

今年建設着手の「新庁舎」

55.4億円の基金内で建設。屋上緑化・太陽光発電・空調など省エネ仕様。



産業・地域

○第二テクノパークを中心に雇用・流通強化

元気な三田の第一課題は雇用の充実です。テクノパークの完売を受け、販売を開始した第二テクノパークを中心に雇用と流通網の整備を強化します。

○JR各駅周辺のさらなる活性化推進

相野駅周辺地区集落地区開発事業が認可段階となり、市街化調整区域の開発が実現します。三田駅だけでなく各駅周辺の活性化を推進します。

三田駅前Bブロック開発計画



○情報公開と市民参加の市政運営を推進

まちづくり基本条例に基づき、三田市政への市民参加・参画を進め、地域でできる事業や管理業務を地域に委託し、身近な課題を地域で運営できる体質を推進します。

○自治会・地域団体の連携で地域力向上を推進

自治会をはじめ、地域団体の皆様との連携により、地域課題を地域で解決可能な、目の行き届いた地域活動を推進します。

びとつ和広 三期目の 課題と政策

安心安全

○信頼される市民病院と地域医療の確立と充実

大幅改善できた市民病院も、さらに医師・看護師の充実を図り、救急体制など一層の充実を図ります。市内各病院・診療所や近隣市の病院連携し、地域としての医療確立を推進します。

○高齢者・障がい者を地域で支える福祉の促進

様々な弱者対策を地域単位に展開し、市がそれを支える仕組みを推進し、介護体制を強化します。

○犯罪撲滅に向けた防犯体制の確立

見守り・巡回など一層の地域活動を推進するとともに、防犯カメラや防犯灯など犯罪抑止を進めます。

○グループ活動・生涯学習／スポーツの環境整備

地域活動や文化・スポーツの活動を広く支える仕組みと体制を推進します。



関西初となる「連節バス」通勤・通学時の混雑緩和とバス路線の強化を図ります。